

阿部睦会中長期計画

むつみみらいプラン～ダイジェスト版～

はじめに

社会福祉法人阿部睦会中長期計画（第1次プラン）は、今後10年間（令和2年度～令和11年度）の経営方針を示すものです。

この計画を策定するにあたっては、調査検討の一環として全職員を対象にアンケートを実施し様々な意見をいただきました。できる限り職員の意見を計画の中に盛り込めるよう検討しました。

計画の概要は、見開きの体系のとおりです。令和2年度からは本計画を土台として、常に改革マインドをもって課題の改善に努めていきます。

プランは原則3年ごとに見直し、情勢の変化に応じて柔軟な姿勢で進めてまいります。

令和2年4月

社会福祉法人 阿部睦会

会長 阿 部 厚 三

【主な項目】

- | | |
|----------|-------------------------|
| ・ 人財の育成 | 勤務体制の確立、定期人事異動、人事評価制度 |
| ・ 経営上の目標 | 組織体制の充実、専決規程の整備、外部委託の推進 |
| ・ 運営上の目標 | イントラネットの構築、文書管理の適正 |
| ・ 施設整備 | 特養ホームA棟の建替え |

阿部睦会中長期計画体系

I 基本理念

阿部睦会の**5つの基本理念**を常に念頭に置きながら事業を進めていきます。

II 法人の将来像

今後10年間はサービスの質の向上を目指します。施設と在宅を事業の両輪とし質の高い総合的な高齢者福祉サービスを提供するとともに、子どもたちの個を尊重しながら発達過程に応じた「育ちの援助」を踏まえ保育事業に取り組んでまいります。

III 人財の育成

1 人財の確保

人材不足が常態化していることに危機感を持って対処する必要があります。ワーク・ライフ・バランスを踏まえ、職場環境や待遇面において、優位性の確保に努めます。また、ハローワーク等を通じた積極的な情報発信を継続していきます。

2 キャリアパスの形成

法人の支援によるキャリアパスの仕組みに応じ、職員が自ら目標とする賃金やポストを明確にできるよう職階制の構築を検討します。また、人材育成及び組織の活性化を図るため、**定期的な人事異動**を実施します。前提として**人事評価制度の導入**を検討してまいります。

3 勤務体制の確立

年間総労働時間の統一をふまえ、各職種を含めた職員の**労働時間の公平**を図ります。また、年5日以上有給休暇取得に向けた取組みを推進していきます。

4 研修体制の確立

研修の体系を再構築し、さらなる効果があがるよう検討してまいります。

5 職員アンケートの実施

職員アンケートを適宜実施し、職員が法人に対して思っていること、求めていることを抽出し課題に向き合い業務改善に取り組めます。

6 職員の福利厚生

働きやすい職場環境整備の一環として、CI活動の手法を参考にし、新年会等の開催、制服の支給、公用車のペイント、機関誌などに活用していきます。

IV 経営上の目標

1 経営基盤の確立

「**施設単位の経営**」から「**法人単位の経営**」への転換を図り、事業の継続性、安定性を確保するとともに自主自立の経営を目指します。

2 組織体制の充実

組織の在り方を見直し、各部署の**事務分掌**を整備します。

3 財政基盤の強化

見積合わせや入札を適切に実施し、経費の節減に努めます。また、使用予定のない資産の売却等を進め新たな投資への財源とします。

4 資金の適正な運用

資金を安全確実かつ効果的に運用し、その果実をもって新たな取り組みに投資します。

5 内部統制の確保

専決規程及び内部統制の仕組みを整備します。また、理事会及び評議員会の法令等に基づく確かな運営に努めます。

6 経営の効率化・安定化

各施設ごとに処理している**給与計算事務を法人本部に統合**し、各拠点における給与計算事務に係る負担の軽減を図ります。また、全ての業務を直営で行うのではなく、ルーティーンの事務等について**外部委託**の可能性を検討しマンパワーの有効活用を図ります。

V 運営上の目標

1 情報発信の強化

現在110台を超える規模になっているパソコンをネットワーク化するため、**イントラネット**（組織内の情報共有システム）の構築を検討します。ICTの活用により、できる限りペーパーレス化を図ります。

2 福祉サービスの充実

介護、生活支援サービス及び保育の質の向上を図るため、これまで以上に研修体制の充実・ICTの活用などに努めます。中でも食の豊かさは本法人の特徴であり、現状を維持しながら質の向上を目指します。

3 文書管理の適正

業務改善の土台として**文書管理の適正**を確保します。散在する現有文書を整理し、定期的な廃棄に結び付けます。

4 地域とのかかわり

地域社会との交流を推進します。その一環として診療所を設置する当法人の強みを生かし、訪問看護事業等の実施を検討します。また、防災拠点としての役割を適切に果たせるよう努めてまいります。

5 創立80周年記念事業の実施

令和10年度を迎える**創立80周年**に向けて、地域に感謝の気持ちが伝わるような記念事業を検討していきます。

VI 施設整備

施設の維持管理については、計画的な施工を進めてまいります。特に重要な施設整備においては、省エネルギーの観点から十分にふまえ、効率的かつ快適な環境整備に努めてまいります。施設の建替えの目安としては原則50年前後とすることとし、将来展望の観点などをふまえ多角的な検討を行います。

診療所を併設している**共楽荘特養ホームA棟**は、昭和48年4月の建設から46年が経過していますので、建て替えの方向で適正な執行体制を確保してまいります。他の施設は適切に必要なメンテナンス等を行いながら現状維持といたします。

VII 進行管理

本計画に沿った事業運営が行われているかどうかを委員会において定期的に検証し、今後の進め方を検討してまいります。本計画は3年ごとに見直しを行ってまいります。

◎アンケート結果をふまえた項目

1 勤務体制の確立に向けた検討

昨年9月に実施した職員アンケートでは、事務職と介護職の公休の不平等に関する意見が多数ありました。現状に至った経緯を検証したうえで、労働時間の公平性を図ります。また、年5日以上の有給休暇の取得を推進します。

2 職階制の明確化

組織体制の見直しを行う中で、職階の明確化により目指すべきポストが設定できるよう検討します。

3 定期的な人事異動

定期的な人事異動については、アンケート調査においても多くの意見があり、これを実施する方向で進めてまいります。前提として、人事評価制度を整備する必要があり、その内容を検討していきます。

4 情報発信の強化

組織内のネットワーク化を図るため、イントラネット（組織内の情報共有システム）を構築し、これを活用してスケジュール管理、規程集、書式等の共有、会議室等の予約管理などができるよう検討していきます。ICTの活用により、できる限りペーパーレス化を図り、わかりやすい業務執行に繋げていきます。